

加速化交付金 K P I 達成状況 (1月末現在)

申請事業名称	事業名称	重要業績評価指標 (K P I)	目標値 (H29. 3)	平成28年度実績値		平成28年度取組内容 (H29. 1末現在の取組内容)
				(A)	(B)	
訪れてよし・住んでよしのサイクリングまちづくり事業	訪れてよし・住んでよしのサイクリングまちづくり事業	サイクリング関連の域内消費額	300万円	1,620万円	H28見込	レンタサイクル・サイクリングイベントを開催。
地域をめぐる観光消費拡大事業	地域をめぐる観光消費拡大事業	周遊性を高める仕組み導入地域での消費額	平成27年度に比べて増加	—	3月実施予定	地域を限定したクーポンを販売し、宿泊施設と周遊エリアの関係を調査する。
	一次産業を含む観光関連産業の成長可能性と地域経済における観光消費経済波及効果把握業務	各事業の調査回答率	50%以上	18.2%	H28実績	就農者、漁業関係者にアンケート及びヒアリングにより地域での農産物及び水産物の生産量、生産額、流通先等を把握するとともに飲食店、宿泊事業者に対し農水産物の仕入れ先及び市内生産品のニーズを調査した。これらのデータから、市内における一次産品の成長可能性を検討し報告書としてまとめるとともに、協力いただいた関係者に報告会を実施した。
物流と観光消費の域内経済波及効果が把握できている		関係者が共有する形で情報が整理されている	情報が整理されている	H28見込		

平成28年度 具体的な施策 K P I 達成状況一覧 (1月末現在)

具体的な施策	KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H27)	目標値	平成28年度実績値		平成28年度取組内容 (H29. 1末現在の取組内容)
				(A)	(B)	
1-1 中学生と高校生の地方創生参画推進事業	・全ての中学校で地方創生に関する説明会	—	毎年1回以上開催	1校で1回	H28実績	磯部中学校で1回開催。
	・地域に誇りを持つ生徒の割合と将来は地域に暮らしていきたいという生徒の割合	誇りを感じる 75.3% 暮らしていきたい 51.2%	誇りを感じる 80%以上 暮らしていきたい 70%以上	79.3% 51.7%	H28実績 H28実績	志摩市及び伊勢市の高校7校の協力を得て、352人の生徒に対しアンケート調査を実施した。
1-2 介護予防ボランティアでポイント事業	・地域支援ボランティアとして活動する人の数	300人	毎年500人以上	164人	1月末現在	地域のサロン運営者、お達者サポーターや一般の制度の参加者により、1月から事業を開始した。
	・ボランティア活動に参加した年間の通算人数	1,590人	年間3,000人以上	300人	1月末現在	サロンや介護予防に対するボランティアの取り組みについては、月に1～2回活動している。
1-3 がんばる市民を応援する事業	・助成事業による年間の資格取得者数	—	50人以上	—	制度設計	補助金交付要綱を制定した。平成29年度から補助開始。
	・奨励事業による指定資格の取得者数	—	目標の80%以上	—	制度設計	補助金交付要綱を制定した。平成29年度から補助開始。
	・資格取得者のネットワーク	構築されていない	構築されている	—	制度設計	ネットワーク構築に向けて検討中。
1-4 地域とのつながりによる県立高校の魅力向上事業	・地域と高校で魅力向上のための対策が検討されている	検討されていない	検討されている	検討されている	H28実績	高校・企業・市役所で生徒の活躍の場創出について協議を行った。
	・両校の生徒が活躍する機会	—	年10回以上	5回	H28見込み	生徒の活動発表の場提供と調整を行った。
	・インターンとして生徒を受け入れてくれる事業者の数	—	延べ20者以上	2者	H28実績	市内2業者にインターシップ受入れ交渉を行った。
1-5 二十歳からの健康貯蓄事業	・定期的に健康診査を受けようと思う人の割合	71.0%	毎年50%以上	71.0%	H28実績	11月14日、12月3日の2日間実施し、受診者は合わせて254人（11月14日は131人、12月3日は123人）であった。なお、定員270人に対する予約は100%であり、キャンセル待ちを含めると100%以上の受診希望者があった。また、今年度より生活習慣病に関連する検査項目において、要精密検査が必要となった人について、電話でのフォローを開始した。※平成28年度実績値は、受診者へのアンケート中の問7「自分の健康を守るために、どんな支援があると良いか？」において、「集団検診」と回答した者の割合を採用した。
	・健康診査の受診者に占める再受診の割合	30%	毎年45%以上	—	—	※偶数年齢での受診となるため、実績値については事業実施3年度目の平成30年度から入力可能となる。

具体的な施策	KPI（重要業績評価指標）	現状値（H27）	目標値	平成28年度実績値		平成28年度取組内容 （H29.1末現在の取組内容）
				（A）	（B）	
2-1 若者の希望を叶える志摩づくり事業	・まとめられた事業（計画）	—	延べ8件以上	3件	H28実績	7月～11月にかけて計5回のワークショップを実施。11月22日にプレゼンを実施し、3つの事業計画を提案した。
	・取り組むことを決めた事業	—	延べ4件以上	0件	H28実績	上記3つの事業を平成29年度に引き続き検討し、事業化する予定。（※事業数については未定。）
2-2 若い女性が暮らしやすい志摩づくり事業	・検討結果の普及啓発を行った回数	—	延べ4回以上	1回	H28見込	市内の女性16名でワークショップを6回実施（見込）し、市に提案する提言を検討した。
	・改良または設計された施策の件数	—	延べ8件以上	0件	H28見込	3月市長に提言予定。（日程調整中）
2-3 移住しやすい志摩づくり事業	・情報提供や支援体制に対する移住希望者の満足度	—	H31に70%以上	—	制度設計	移住希望者への情報提供のためのガイドブックを移住者によるワークショップにより検討。併せて各自治会へ人口ビジョンにより人口減少の状況等の説明をするとともに、地区の状況の聞き取りを行っている。
	・支援体制に協力してくれる移住者の数	—	H31に50人以上	6人	H28見込	平成29年度に支援体制を検討する。
2-4 水産業の担い手受け入れ推進事業	・若者を受け入れる条件が整理された漁業集落の数	2集落	延べ5集落以上	2集落	制度設計	畔志賀漁師塾で甲賀、志島地区が若者を受け入れる条件が整理されており、平成29年度に的矢地区において地域おこし協力隊制度を利用した若者受け入れ体制を構築中。
	・若者を受け入れた漁業集落の数	2集落	延べ4集落以上	2集落	制度設計	
2-5 IJU（移住）ターン促進のための奨学金返済補助事業	・制度を利用した人の数	—	延べ100人以上	—	制度設計	基金条例及び補助金交付要綱を制定した。（12月議会）平成29年度から補助開始。
2-6 若者の集いと出会いの支援事業	・支援したイベント等で集った若者の数	—	毎年200人以上	374人	H28実績	①TOKOWAKA Biker's MTG 若者20代～30代：136人 ②第5回しまコン 若者30～44歳：40人 ③水高・志摩高フェスタ：生徒75人（水高40人・志摩高35人） ④三十路式 若者30歳：123人
2-7 多子世帯を応援する保育料無償化事業	・保育所等に通う子どもに占める第3子以降の割合	17.8%	H31に21%以上	※ ※ ※	※※※	国が同様の制度を導入したことにより廃止。
2-8 家主と移住者のためのリノベーションによる空き家活用等事業	・リノベーション助成を利用して移住した件数	0件	延べ5件以上	2件	H28見込	総合政策課を通じて、三重ええとこやんか移住相談センターへチラシを送付した。平成28年度予算件数2件に対し、申請件数2件
	・リフォーム助成を利用した移住した件数	0件	延べ5件以上	—	制度設計	助成金交付要綱を制定した。（H29.4.1から施行予定）
2-9 若者世代の移住促進事業	・制度を利用して移住した件数	—	延べ5件以上	—	制度設計	平成28年度に要綱策定し、平成29年度に予算計上。

具体的な施策	KPI（重要業績評価指標）	現状値（H27）	目標値	平成28年度実績値		平成28年度取組内容 （H29.1末現在の取組内容）
				（A）	（B）	
3-1 志摩市ホームページの魅力向上事業	・HPの年間アクセス数	300,000件	年間325,000件以上	351,113件	1月末現在	平成27年度末にホームページを改訂し、トップページに投稿コーナー「撮っておき志摩」を配置し市民が撮った写真をスライドで閲覧できるようにした。
	・HPへの市民による年間投稿件数	—	年間300件以上	26件	1月末現在	
	・HPが見やすいと答えた人の割合	—	毎年80%以上	38.4%	1月末現在	
3-2 きらり志摩びと紹介番組放送事業	・番組で紹介した市民や団体の数	—	延べ50以上	8人（団体）	1月末現在	平成28年6月から行政チャンネルで「きらり志摩びと紹介」の放送を開始した。平成29年度当初にそれまでに紹介した人に集まってもらい座談会を開催し、その模様を放送する予定としており、それを母体にネットワークを構築していく計画である。
	・番組を見た市民の割合	—	毎年50%以上	42.5%	1月末現在	
	・番組で紹介した人とのネットワーク	構築されていない	構築されている	構築されていない	H28見込	
3-3 志摩びと結ぶ志摩市広報事業	・紹介した市民の数	—	延べ50人以上	8人	1月末現在	平成28年6月から広報しまに「しま×ひと×つながり」コーナーを新設し志摩びとインタビューを開始した。平成29年度当初にそれまでに紹介した人に集まってもらい座談会を開催し、その模様を記事にする予定であり、それを母体にネットワークを構築していく計画である。
	・特設コーナーを読んだことのある市民の割合	—	毎年60%以上	53.8%	1月末現在	
	・紹介した人とのネットワークの構築	構築されていない	構築されている	構築されていない	H28見込	
3-4 地域の資源を活用するためのプラットフォーム創出事業	・プラットフォームに参加している人の数	—	延べ100人以上	100人	H28見込み	3回の異業種者を集めた会議を行った。
	・プラットフォームを通じて生み出された協働の数	—	延べ10件以上	1件	H28実績	民間レベルで商品の相互販売を開始した。
3-5 志摩の魅力の発信コンテンツ制作支援事業	・提案された企画の数	—	毎年5件以上	0件	H28見込み	募集媒体内容について検討した。
	・出版されたコンテンツの数	—	延べ3件以上	0件	H28見込み	
3-6 農産物の生産実態把握事業	・調査に協力してくれた人の割合	—	調査実施時に70%以上	18.1%	H28実績	総合政策課が実施した調査業務の内容で当初目的が達成できると確認できたため、農林課で直接実施せず、総合政策課に協力した。
	・生産量及び生産額、並びにそれらの物流の把握	把握できていない	把握できている	把握できている	H28見込	
3-7 里海読本編集事業	・編集に関わった人の数	—	延べ20人以上	—	制度設計	冊子の作成に興味のある市民と協議を行った結果、記事の作成・収集方法の再検討や成果品を印刷物とするかウェブ上での公開とするかなどについて再検討すべきという意見が出され、聞き書き手法を取り入れた記事の作成・収集について再検討中。
	・編集されたテキストの数	—	延べ3つ以上	—	制度設計	
	・テキストを読んで志摩市の魅力を再発見した人の割合	—	テキスト完成後に80%以上	—	制度設計	
3-8 志摩市の食材を生かした食育推進事業	・志摩市の食材が好きと言う小学校5年生の割合	—	毎年70%以上	※ ※ ※	※※※	事業の再検討のために廃止。
	・「ふるさと給食」で使用する地場産品の割合	三重県産：32.8% （うち志摩市産：—）	三重県産：年間35%以上 （うち志摩市産：70%以上）	※ ※ ※	※※※	
	・「ふるさと給食」以外で志摩市の食材を使った回数	—	年間50回以上	※ ※ ※	※※※	
	・市内全ての小学校で生産者と小学生が交流する機会	—	年間1回以上	※ ※ ※	※※※	

具体的な施策	KPI（重要業績評価指標）	現状値（H27）	目標値	平成28年度実績値		平成28年度取組内容 （H29.1末現在の取組内容）
				（A）	（B）	
4-1 ふるさと応援寄附推進事業	・年間の経済波及効果	3.5億円	毎年3億円以上	2.9億円	1月末現在	志摩市へのふるさと応援寄附者 約9,000人（7億2000万円）に対し、返礼品を贈呈した。
	・最初に返礼品を出荷した年に比べてふるさと応援寄附の返礼品の出荷が原因で事業者の取り扱い商品が増加している事業者の割合	100%	毎年70%以上	100%	H28実績	チラシを作成し東海4県の郵便局への設置及びイベントで配布した。また、三重県南部13市町で、関東地域へ行きPRをした。（実績値については新年度にヒアリング調査を実施し把握予定）
4-2 生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業	・ニーズを踏まえて販路拡大に取り組んだ生産物の数	—	延べ10品目以上	—	制度設計	農産物の生産実態把握事業による調査結果に基づいて、販路拡大可能な農産物や手法を関係機関担当者レベルで検討することを要請した。
	・販路が拡大できた生産物の数	—	延べ5品目以上	16品目	H28実績	志摩市における未利用魚等について多獲性低価格魚（5種）、味は良いがマイナーで低価格の魚介類（7種）、志摩地方では食す習慣が無かったおいしい未利用資源（4種）に分類し、東京で開催されたアグリビジネス創出フェアに出展し販路拡大に向け情報収集に取り組んだ。
4-3 農業生産者の強化と育成事業	・生産量と生産額を増やした農業生産者の数	4者	延べ20者以上	—	制度設計	農産物の生産実態把握事業による調査結果に基づいて、販路拡大可能な農産物や手法を関係機関担当者レベルで検討することを要請した。
	・制度を活用した農業生産者でインターン等をした若者の数	—	延べ5人以上	1品目	H28実績	志摩で漁獲されたアカモクが加工業者を通じ、飲食店、土産物屋、スーパー、旅館などでの販売が始まった。
4-4 新たな漁業者を受け入れる漁港整備事業	・安全に係留することが可能となった漁港の数	—	延べ1つ以上	9者	1月末現在	ビニールハウスの新設に対して直売所等への販売を条件に設置費用の一部を補助した。
4-5 外国人観光客誘致推進事業	・外国人観光客数	46,244人	H31に100,000人以上	0人	1月末現在	インターンの来訪時期が制度活用した生産者の農作業等があまりない時期であったため、実現しなかった。
	・外国人観光客に占める東南アジアからの観光客の割合	5.9%	H31に20%程度	0箇所	H28実績	漁業担い手対策に取り組んでいる志島地区、甲賀地区が利用する甲賀漁港は現在、風や波の影響を受け安全に係留できる水域が狭いため、安全に係留することが可能となるよう突堤を新設するための設計を行っている。
	・外国人観光客に占める欧米からの観光客の割合	3.2%	H31に10%程度	59,088人	H28見込	東アジア、東南アジアへのセールスおよび国内商談会への参加、ファムトリップの受入等を行っている。
	・地域連携DMOの構築	構築されていない	構築されている	約7%	H28見込	タイへのセールスやベトナム旅行会社のファムトリップ受入、TV取材誘致、東南アジア商談会への参加を行っている。
4-6 地域をめぐる観光消費拡大事業	・調査に協力してくれた事業者の割合	—	調査実施時に70%以上	約9%	H28見込	フランス旅行会社のファムトリップの実施や、OTA（オンライン型旅行会社）との連携、市内施設向け英語塾の実施等を行っている。
	・観光消費額及び観光関連産業の域内調達率が把握できている	把握できていない	把握できている	構築されていない	1月末現在	現時点での取り組みはなし。
	・制度を試行した区域における観光消費額	—	仕組み導入後に10%以上増加	18.1%	H28実績	市内産の農産物及び水産物の仕入れ状況や市内産一次産品のニーズ等をアンケート及びヒアリングにより調査した。
4-7 未利用資源を活用した漁業振興事業	・未利用資源として定めた水産物を対象に資源管理型の漁業等を試行した件数	—	延べ2件以上	—	3月実施予定	地域を限定したクーポンを販売し、宿泊施設と周遊エリアの関係を調査する。
	・試行で得られた水揚げ高	—	延べ1,000万円以上	1件	H28見込	アカモクの試験操業を継続中、2月以降、アカモクが完熟した地区から順次、試験操業等を行う。
				253,080円	H28実績	浜島地区（0.2t 32,490円）の漁獲 波切地区（1.2t 220,590円）の漁獲

具体的な施策	KPI（重要業績評価指標）	現状値（H27）	目標値	平成28年度実績値		平成28年度取組内容 （H29.1月末現在の取組内容）
				（A）	（B）	
5-1 地域の仕事カケモチ型就業推進事業	・カケモチ型の就業者を受け入れてくれる事業者の数	—	H31に30者以上	—	制度設計	志摩市内の第一次産業の組合等の情報提供の場として求人情報のホームページを平成29年度に作成する。
	・カケモチ型の就業を実践する人の数	—	延べ5人以上	—	制度設計	上記作成のホームページにより、事業者と個人をつなぎ、実践する人を増やす。
5-2 志摩市を元気にする創業及び事業拡大支援事業	・審査を行った件数	—	延べ10件以上	—	制度設計	基金条例及び補助金交付要綱を制定した。（12月議会）平成29年度から補助開始。
	・創業等を実現した件数	—	延べ3件以上	—	制度設計	
5-3 鵜方駅周辺の賑わい復活事業	・鵜方駅周辺の店舗利用者数	H28に調査	20%以上増加	—	制度設計	現在、鵜方駅前振興会にて協議中。
	・鵜方駅周辺に活気を感じる人の割合	12.7%	毎年70%以上	12.7%	H28実績	平成28年度鵜方駅前ニーズアンケート調査の実施。
	・鵜方駅周辺で新たに経営を始めた事業者数	H28に調査（H27分）	延べ2者以上	—	制度設計	現在、鵜方駅前振興会にて協議中。
5-4 志摩市におけるガイド業の創出事業	・ガイド業で収入を得る人の数	—	H31に20人以上	0人	H28実績	平成28年度は鳥羽でガイド業を成功させている事業者に委託し、ガイド業の創出に興味のある方々を対象に1年間かけて、ガイドに関する基礎知識や技術、そして有償でガイド業を行うにあたっての心得などを学んだ。今後の方針としては、平成29年度には、引き続きガイド業の立ち上げのためのノウハウなどさらに踏み込んだ指導をしてもらう予定。また、新たな参加者の募集についても検討していく。
	・ガイドツアーを専門に扱う事業者数	—	H31に1者以上	0人	H28実績	
5-5 高齢者と障がい者とその家族のための観光サービス創出事業	・高齢者や障がい者の観光を支援するサービスの構築	構築されていない	構築されている	構築されていない	H28実績	4回会議を開催。
	・高齢者や障がい者の観光を支援するサービス業に参画する事業者の数	—	H31に50者以上	—	H28実績	
5-6 6次産業化推進事業	・6次産業化に新たに参入した事業者の数	8者	延べ10者以上	10者	H28実績	アカモクの認知度を向上させ特産として推進させるため、成分分析を行い栄養面、健康面をクローズアップしたパンフレットを作成中。アカモクの漁獲量を増やすため漁協と連携し試験操業地区を4地区から7地区への拡大を目指している。志摩で漁獲されたアカモクが加工業者を通じ、飲食店、土産物屋、スーパー、旅館などでの販売が始まった。
	・6次産業化により利益が増えたと感じる人の割合	70%	H31に80%以上	70%	1月末現在	志摩市におけるアカモクの漁獲量が少なく、鳥羽で漁獲されたアカモクも加工品の材料に含まれるため純粋に志摩市のみの調査が難しい。

具体的な施策	KPI（重要業績評価指標）	現状値（H27）	目標値	平成28年度実績値		平成28年度取組内容 （H29.1末現在の取組内容）
				（A）	（B）	
6-1 伊勢志摩国立公園の魅力向上事業	・参加する市民の数	—	年間1,500人以上	40人	H28実績	金毘羅山周辺及び逢坂峠周辺の2箇所にてテクトクトレッキングを開催した。
	・国立公園のなかで暮らしているということを意識している市民の割合	35.3%	毎年90%以上	35.3%	1月末現在	
6-2 三世代同居推進事業	・三世代同居を始めた世帯数	H28に調査（H27分）	延べ15世帯以上	※ ※ ※	※※※	国が同様の制度を導入したことにより廃止。
	・H32の国勢調査での三世代同居の世帯数	H27国勢調査結果待ち	300世帯以上	※ ※ ※	※※※	
6-3 賢島の魅力発信力向上事業	・賢島に関わる事業者の連携と創意工夫で取り組まれた事業数	—	延べ5件以上	0件	H28実績	3回会議を開催。
	・賢島を訪れる観光客のうち志摩市の魅力を感じてもらえた方の割合	65.9%	毎年80%以上	65.9%	H28実績	平成28年9月アンケートを実施。
6-4 地域の特色を生かしたスポーツのまちづくり事業	・地域の特色を生かしたスポーツ振興に取り組む地域の数	—	延べ20地域以上	3団体	H28実績	公募・選考委員による書類審査及びヒアリングを実施し決定。
6-5 地域の魅力を見つけて生かす観光まちづくり事業	・観光まちづくりに取り組む地域の数	—	延べ4地域以上	1地区	H28実績	現在7回会議を実施。
	・参画する主体のうち、観光客や観光客とふれあう機会の増加を実感している人の割合	—	H31に80%以上	25%	H28実績	和具地区において地区の方々に声掛けし会議を開催。
6-6 生活拠点づくり事業	・住民が主体となって地区の課題解決に取り組む地区の数	2地区	延べ4地区以上	2地区	H28見込	間崎拠点：集いの場の展開（買物支援、見守り訪問、相談対応） 的矢拠点：集いの場の展開（ミニコンサート、頭の体操教室等）
6-7 これからの志摩市の地域交通検討事業	・将来に向けた有効な地域交通のあり方として提案する件数	—	延べ3件以上	0件	H28見込	平成28年度に福祉分野、観光分野、教育分野で協議して現状の洗い出しを行っている。今後、現状分析と地域交通のあり方について検討していく。
6-8 子どもの医療費がかからないまちづくり事業	・制度を利用している中学生の割合	92.0%	毎年90%以上	79.1%	H27実績	平成29年2月14日現在アンケート実施中。現状値欄(92.0%)は登録者を対象人口で除した割合。平成28年度実績値(79.1%)は登録世帯で実際に制度を利用したと回答した世帯の割合。
	・制度利用世帯に占める経済負担が軽減したと感じた割合	—	毎年100%	72.1%	H27実績	平成29年2月14日現在アンケート実施中。